

## 5 茶山ポエム絵画展の流れ（2022（令和4）年度実績）

- 主 催：公益財団法人福山市かなべ文化振興会 菅茶山記念館
- 共 催：菅茶山顕彰会
- 後 援：神辺美術協会・福山市教育委員会

### （1）企画・計画……2022（令和4）年3～5月 {主催：菅茶山記念館}

- ① 実施計画・予算決定
- ② 実施スケジュール、詩題、募集対象などの決定
  - ・ 詳細日程以外は前年どおり
  - ・ 詩題12題（前年どおり）



### （2）募集要項作成・配布……6～7月 {主催：菅茶山記念館}



- ① 募集要項の作成
  - ・ 前年度実績を改訂する。
  - ・ 印刷
  - ・ 要項差し込み製本 7月上旬 {菅茶山顕彰会参加}

### ② 募集要項の配布 7月中旬 {主催：菅茶山記念館}

- ・ 配布部数 5,000部
- ・ 配布先 \*福山市内全校：小学校（84校）、中学校（38校）  
\*応募実績のある福山市内の保育所・幼稚園、高等学校（数校園）  
\*福山市近隣の実績・連絡のある小学校、中学校、高等学校（数校）
- ・ 記念館出向き、受け取りも可能（不登校児、配布対象外の学校生徒など）

### （3）作品募集……8月～11月 {主催：菅茶山記念館} {各学校}

- ① 園児・生徒に配布説明
  - ・ 菅茶山の学習、茶山ポエムの理解(イメージ作り)
- ② 絵画の制作  
〔ケース〕・絵画の授業で制作 ・夏休み宿題 ・クラブ活動で制作
- ③ 作品提出
  - ・ 菅茶山記念館の受付締切 11月中旬 応募総数：3,232点
  - ・ 学年別に整理、審査準備 {主催：菅茶山記念館}

#### 作品応募の概要

- ① 応募方法：詩題から1人1点、(課題以外の茶山ポエムで出品も可)
- ② 作品規格：4つ切り画用紙
- ③ 画 材：水彩・クレヨン・クレパス・色鉛筆・アクリル絵の具など自由  
ただし油彩は不可。
- ④ 画 法：水彩画・版画・デザイン画・切り絵・貼り絵（ちぎり絵）など自由  
ただし油彩画・レリーフ（浮き彫り）は除く。  
貼り絵の場合はあまり立体的にならないこと。
- ⑤ 内 容：菅茶山は江戸時代の人ですが、絵の内容の時代は問わない。

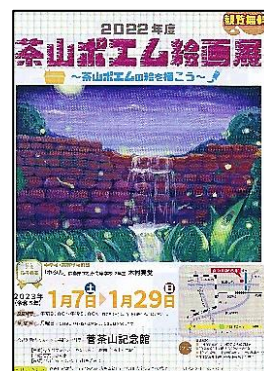
(4) 審査会…………… 11月末 {主催：菅茶山記念館}

- ① 会場 福山市かなべ文化会館 小ホール
- ② 審査員 神辺美術協会の役員
- ③ 審査方法
  - ※ 入選数 502点
    - ・ 学年ごとに並べた作品の中から、審査委員が選ぶ。
    - ・ 入選数は応募総数から学年別に決めておく。
  - ※ 優秀賞 102点
    - ・ 学年ごとに入選作品を並べ、審査委員が話し合って決める。
  - ※ 最優秀賞 8点
    - ・ 学年ごとに優秀賞作品の中から、審査委員が手上げ方式で1点を選ぶ。
    - ・ 各学年の最優秀賞作品の中から、ポスター使用作品を決める。
- ④ 審査結果および授賞式の連絡



(5) 茶山ポエム絵画展準備

- ① 絵画展ポスター・チラシ製作・配布、広報依頼 12月 {主催：菅茶山記念館}  
受賞者名簿作成、授賞式案内
- ② ラベル貼り 12月中旬 {菅茶山顕彰会参加}
  - ・ 入賞作品にラベル(詩題、制作者など)を貼つける。
- ③ 展示準備 展示会の2日前 {菅茶山顕彰会参加}
  - ・ 菅茶山記念館会場に、パネル設置、作品ピンどめ



(6) 授賞式 {主催：ふくやま芸術文化財団 菅茶山記念館}

- ① 会場 菅茶山記念館
- ② 月日 1月第2土曜日(原則)
- ③ 出席者 最優秀賞・優秀賞受賞者と保護者(コロナ禍中では優秀賞を除く)
- ④ 来賓 受賞者の学校長、神辺美術協会会長、菅茶山顕彰会会長

(7) 茶山ポエム絵画展

- ① 展示会場 菅茶山記念館
- ② 展示会期間 授賞式後～1月末日曜日(原則)
- ③ 展示品撤去 2月上旬 {菅茶山顕彰会参加}
- ④ 作品返却 最優秀賞・優秀賞作品以外を応募学校に返却 2月上旬

(8) 優秀作品展示会準備 (主催：菅茶山顕彰会)

- ① 最優秀賞・優秀賞作品の移管 {菅波茶山記念館⇒菅茶山顕彰会}
- ② 額入れ 3月または4月
  - ・ 作品を展示用額縁にセット

